



冬期は4/7まで無休
10:30~15:30 (入園は15:00迄)
ASAHIYAMA ZOO

発行所
旭川市旭山動物園
動物図書館
☎ 36-1104

キョンが来園しました!

1月26日、私たちは「キョン」を迎えるため、旭川空港へ向かいました。この日の天候は猛吹雪、飛行機が無事に到着するか心配していましたが、なんとか定刻どおりにやってきました。運ばれてきた2つのケージ、この中に「キョン」のオス、メス1頭づつが入っています。車に積み込み動物園まで移動します。その間、暴れることもなく、落ち着いた様子でした。そして、てながざる館にある寝室に移して、引っ越し完了です。



現在は、警戒心が強く人を見ると怯えているため、徐々に人がいることに慣れさせている段階です。エサは、ペレット、大豆かす、麦、カシの葉、キャベツなどを食べています。

皆さんにお披露目できるのは「夏期開園」からになります。場所はてながざる館にて、テナガザルと一緒に展示する予定です。東南アジアの野生を感じてみてくださいね。

「キョン」ってどんな動物?

偶蹄目(ウシ目)シカ科

<原産>台湾、中国南東部

<特徴>

オスは短い角と犬歯あり、体高45cm、胴頭長70cm、体重14kg前後、メスは角と犬歯はない。体が小さい原始的なシカ。



外来種問題

「キョン」は、東京都伊豆大島、千葉県房総半島で野生化し、繁殖している外来種です。なぜ日本に来たかという点、展示用として持ち込まれ、展示施設などから逃げだして、繁殖したものと考えられています。

そして、稲やトマト、ナスなどの農作物被害の影響が出ています。今後は、在来の植物や二ホンジカの生活圏が荒らされていき生態系のバランスが崩れることが、心配されています。

モユク★カムイ 最新号 配布中!



第75号を配布中です。ご希望の方は、各門、動物図書館までお越しください。

3月の読み聞かせ会

3月13日 土曜日
12時15分から
どうぶつ図書館にて
・森のいのち
・いのちのまつり
ぜひきてください。



雪を運んで、プールに投入。これぞ凍らせ作戦!



あざらし館に流水ひろば完成!

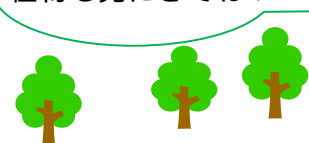
1月19日、今年もあざらし館に「流水ひろば」が完成しました!もぐもぐタイムでは、流水から顔をのぞかせたり、氷の上を移動する姿が見られます。館内からは、流水とアザラシを下から見た美しい世界が広がっています。

オホーツク海に押し寄せる流水は、ゴマフアザラシが「出産、子育て」をする大切な場所です。これから「地球温暖化」が進み、北海道に流水がやってくる時がくるかもしれません。野生のアザラシたちがこれからも安心して出産、子育てができるように、自分たちに何ができるのか考えてみましょう。



このお仕事をしているのは、施設管理係の半澤さん。園内にある施設の維持、管理などを担当しています。

植物も見にきてね!



種まきをした植物の種類の数

	野草	樹木	計(種)
旭山在来植物	60	21	81
道内在来植物	68	0	68
計(種)	128	21	149

おしえて! どうぶつえんのお仕事

皆さんは、園内の野草や、樹木に添えられている、緑色の「葉の形をした看板」を見たことがありますか?旭山の在来植物をもっと知ってもらうために、設置しています。「野草」「樹木」を通して、皆さんに伝えたい思いを形にしているお仕事を紹介します!



二葉に成長した「ヌスビトハギ」



2007年から設置している看板。学名、漢字、分布、特徴、花言葉などを表記しています。見つけてみよう!

旭山公園全体の在来植物は、百八十種あり、そのなかで、園内にも生えている植物は百三十種です。生息数が少ない種、生息していない種を園内に増やしていく計画をしています。

現在は、初冬にまいた種が発芽し、成長し始めています。この時期に発芽させるために、雪国ならではの行程が必要な種類があります。まいた種を11月から1月までの間、積雪5センチ程の雪の下に置いておく、「低温湿潤処理」を行います。その時、土が乾燥しないように、十分に湿らせておくことが必要です。乾燥した状態では、発芽しにくくなるからです。また、植物によっても発芽率は違ってきます。その後、暖かい室内に移動し、発芽を待ちます。

これらの植物は、夏の開園期間中に、東門の階段横や野草園などに植える予定です。本来の旭山の自然を感じて、大切に思う心を育てていきたいと考えています。